

【球磨川本川：上流部】

- ①引堤案
- ②河道掘削等案
- ③堤防嵩上げ案

※「上流部」とは、66.4km(川辺川合流点)～91.8km(直轄上流端)の区間のことで、沿川の市町村は相良村、錦町、あさぎり町、多良木町、湯前町、水上村です。

- 引堤延長：8区間合計約3km
- 引堤幅：最小で10~20m、最大で20~40m
- 橋梁の架け替えまたは継ぎ足し：5橋、樋管改築：5箇所

明廿橋付近の写真



川瀬橋付近の写真



佐本橋付近の写真



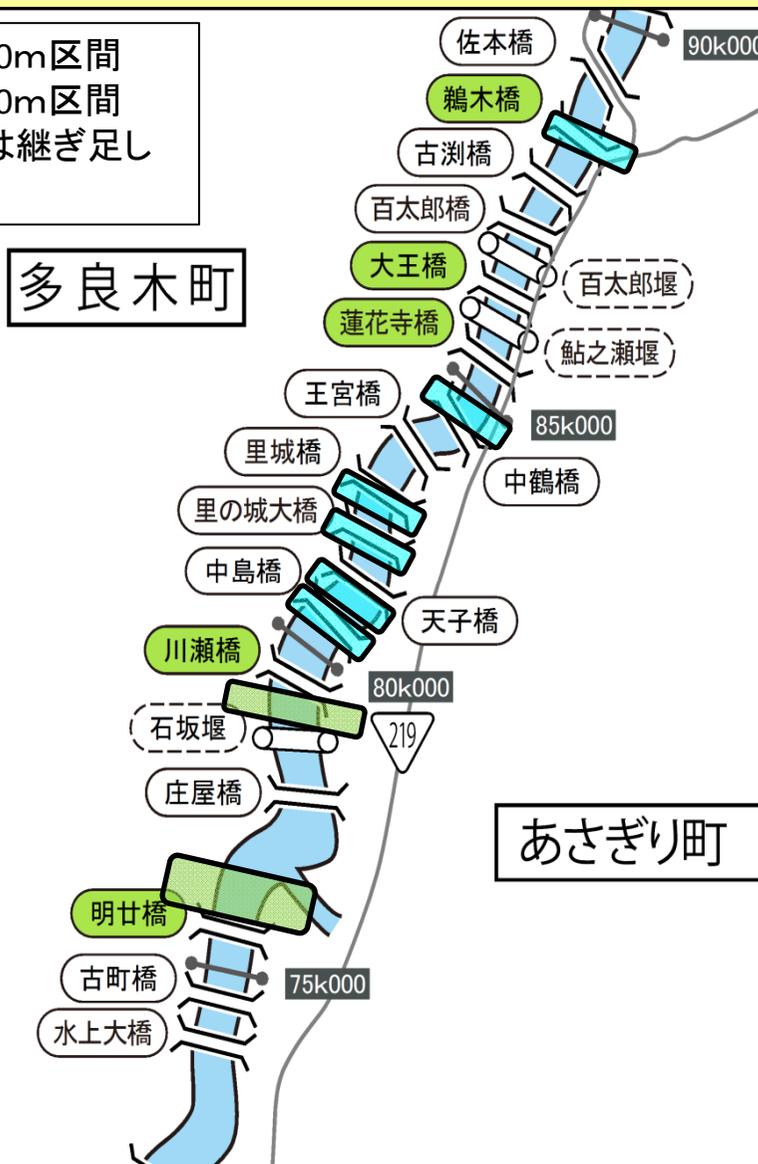
蓮花寺橋付近の写真



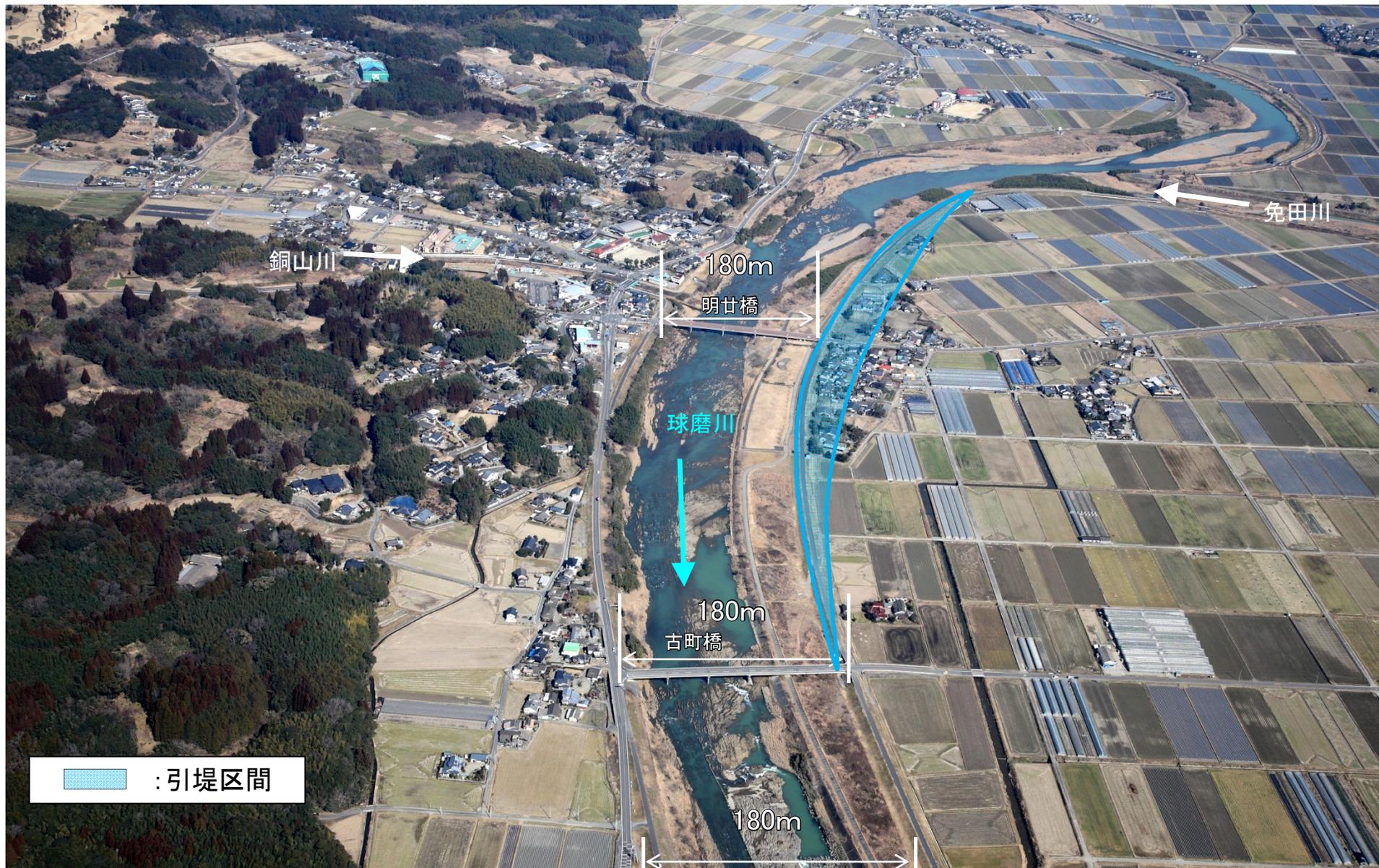
-  : 引堤幅: 10~20m区間
-  : 引堤幅: 20~40m区間
-  ○○橋 : 架け替えまたは継ぎ足しとなる橋梁

【写真凡例】

-  : 引堤区間



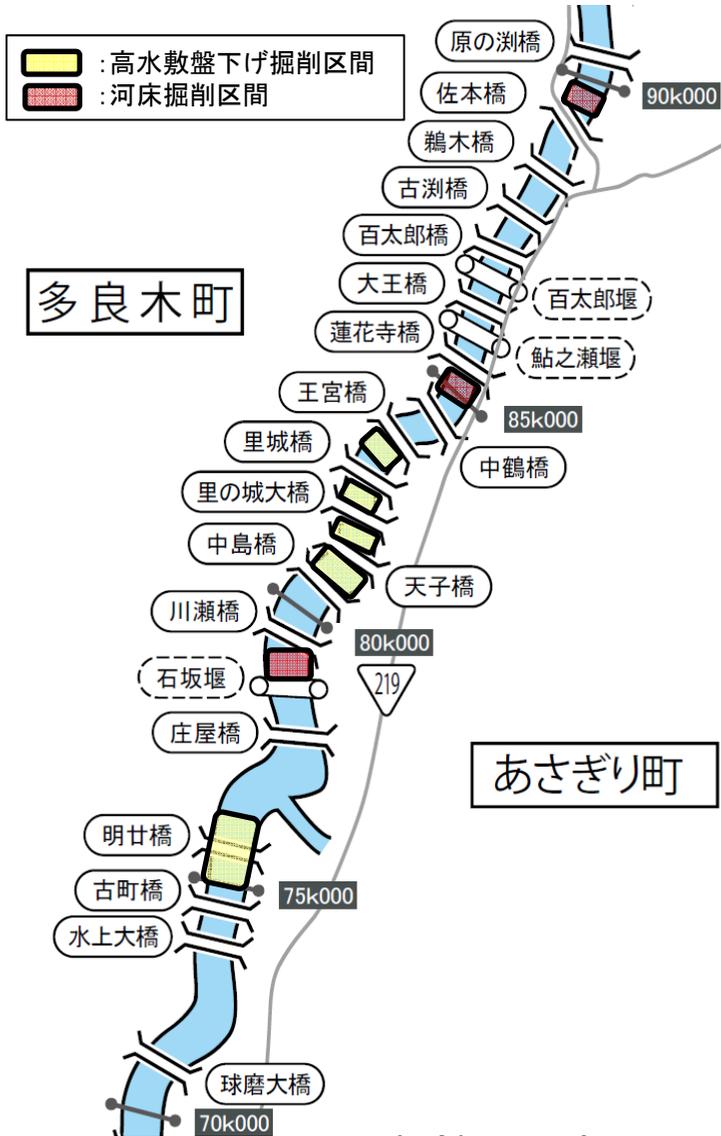
○ 8区間で引堤を実施。家屋移転等約50戸、用地買収約9ha。



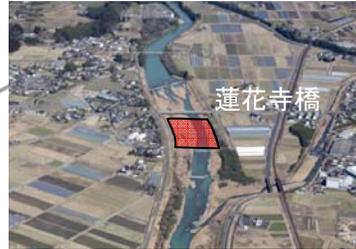
河道掘削案の概要【球磨川本川(上流部)】

- 計画高水位を超過する区間を個別に河道掘削
- 高水敷盤下げ掘削：約40万m³（5箇所合計延長：約3.0km、掘削高：最大約4m）
- 河床掘削：約9万m³（3箇所合計延長：約1.0km、掘削高：約0.5m）

【掘削量】
 約49万m³
 ≒ダンプトラック(10t)
 で約10万台分



蓮花寺橋85k0付近の写真 佐本橋89k6付近の写真



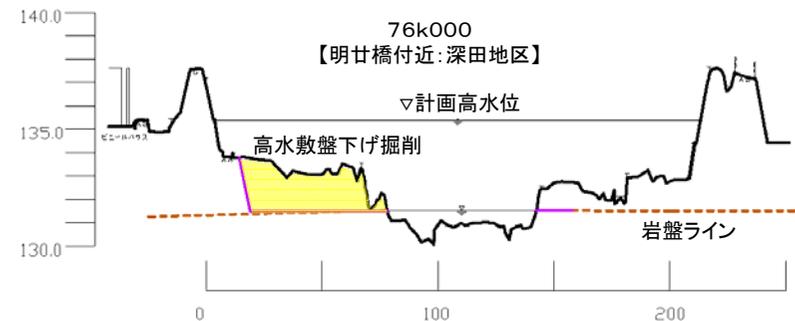
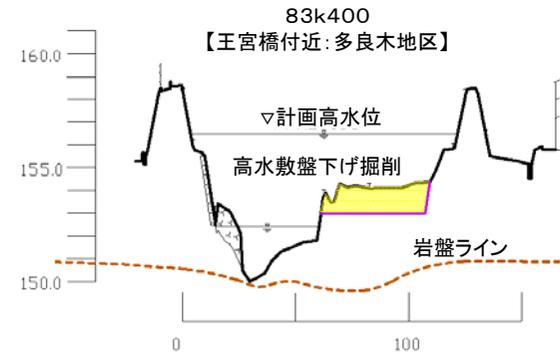
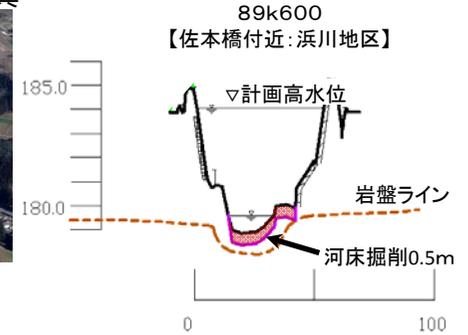
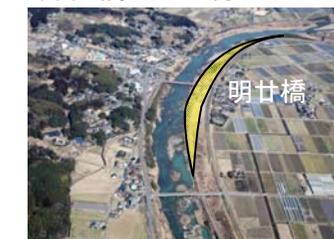
王宮橋83k4付近の写真



川瀬橋78k8付近の写真

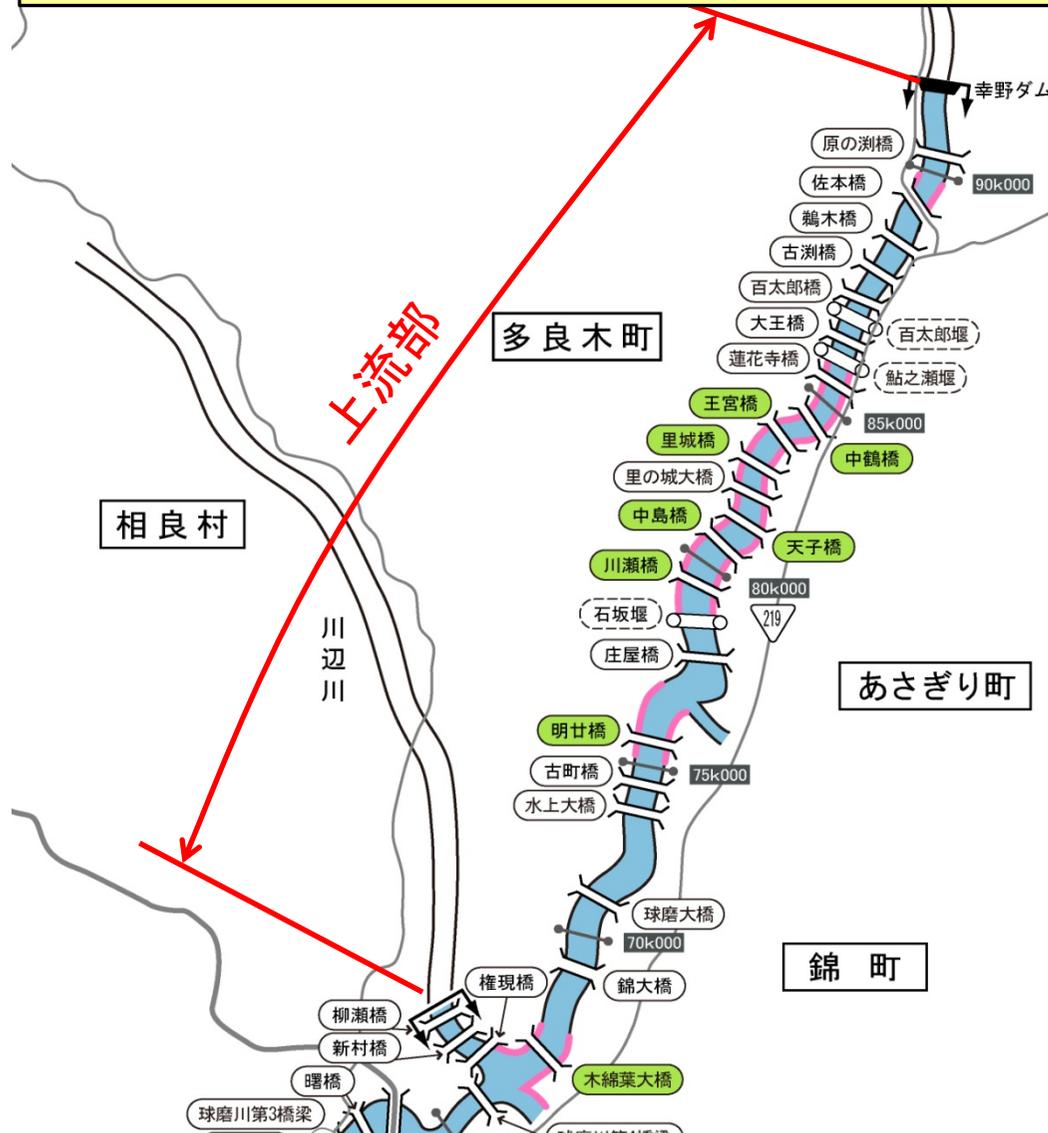


明廿橋76k0付近の写真

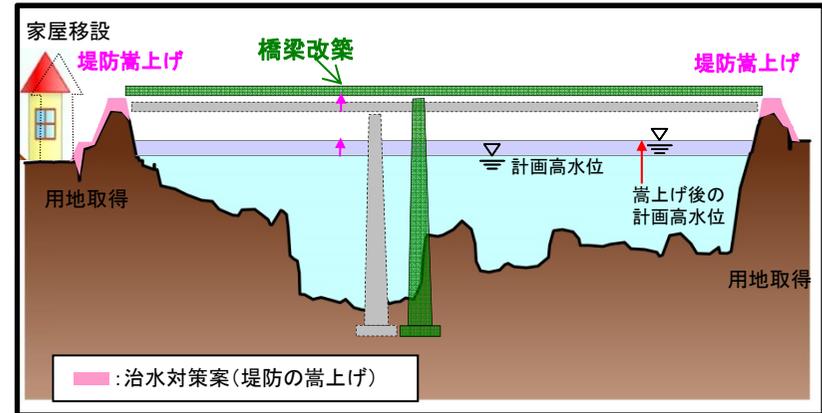


堤防嵩上げ案の概要【球磨川本川（上流部）】

- 計画高水位を超過する区間を個別に堤防嵩上げ
- 嵩上げ高：約0.3m～0.5m、嵩上げ延長：約16km(両岸)
- 橋梁架け替え：8橋



嵩上げイメージ(上流部)



区間	嵩上げ高	架替えが必要な橋梁
上流部	約0.3～0.5m	8橋

【凡例】

- : 堤防の嵩上げ区間
- : 橋梁の架け替え

○沿川の家屋等の移転、用地買収約3ha。



— : 堤防嵩上げ

○ : 橋梁架替え

【川辺川筋】 直轄管理区間 県管理区間上流部、県管理区間下流部

- ①引堤案【県管理区間上流部は検討対象外】
- ②河道掘削等案【直轄管理区間は検討対象外】
- ③堤防嵩上げ案【県管理区間上流部は検討対象外】

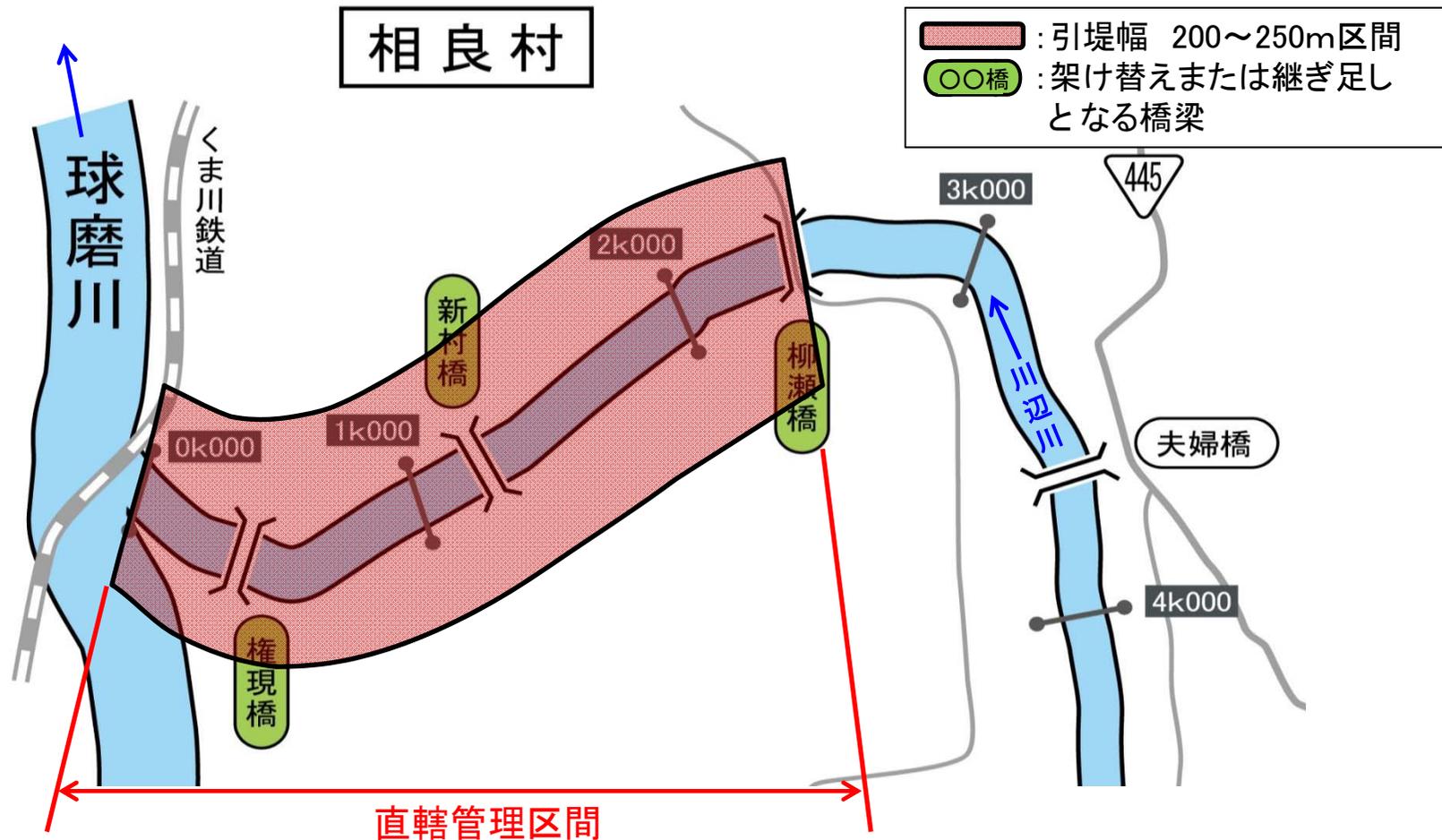
※「川辺川筋:直轄管理区間」とは、0.0km(本川合流点)～2.4km(柳瀬橋)の区間のことです。

※「川辺川筋:県管理区間下流部」とは、2.4km(柳瀬橋)～10.75km(井手山堰)の区間のことです。

※「川辺川筋:県管理区間上流部」とは、10.75km(井手山堰)～18.4km(新深水橋上流)の区間のことです。

沿川の市町村は相良村です。

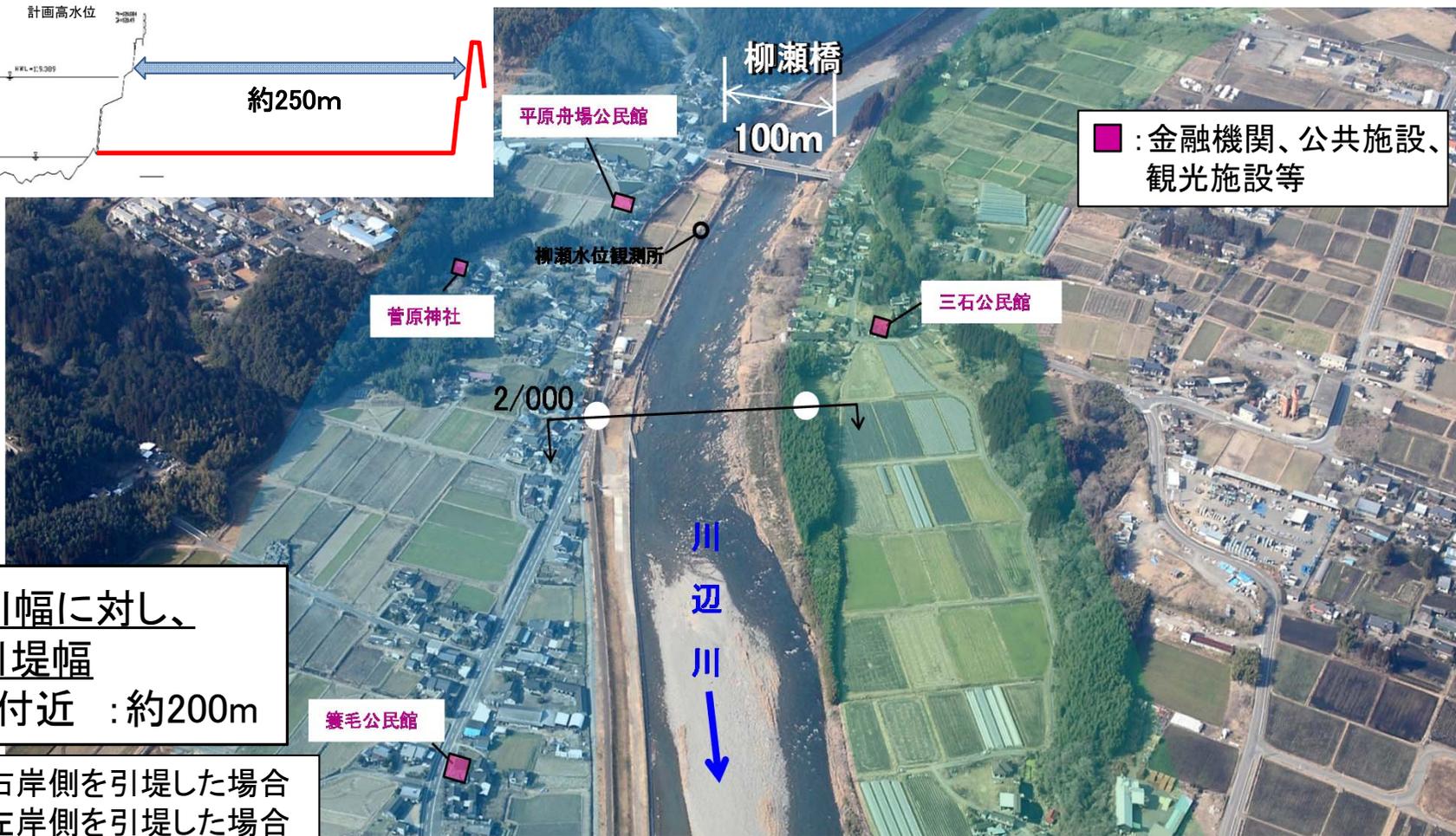
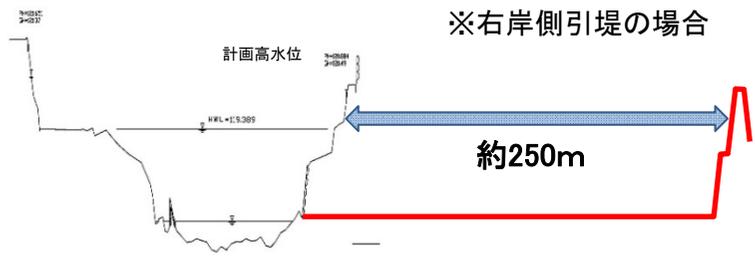
- 引堤延長：約2.4km
- 引堤幅：200~250m
- 橋梁の架け替えまたは継ぎ足し：3橋
- 右岸側引堤の場合：樋管改築4箇所
- 左岸側引堤の場合：樋管改築なし



- 直轄管理区間では、現況の川幅100m～190mを300m～440mまで拡げる
- 右岸側引堤の場合：家屋等約200戸の移転、用地買収約46ha
- 左岸側引堤の場合：家屋等約50戸の移転、用地買収約43ha

横断図(2k000)

※右岸側引堤の場合



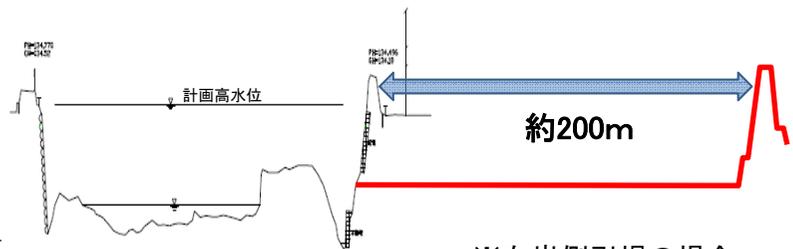
現在の川幅に対し、
必要な引堤幅

・柳瀬橋付近：約200m

- : 右岸側を引堤した場合
- : 左岸側を引堤した場合

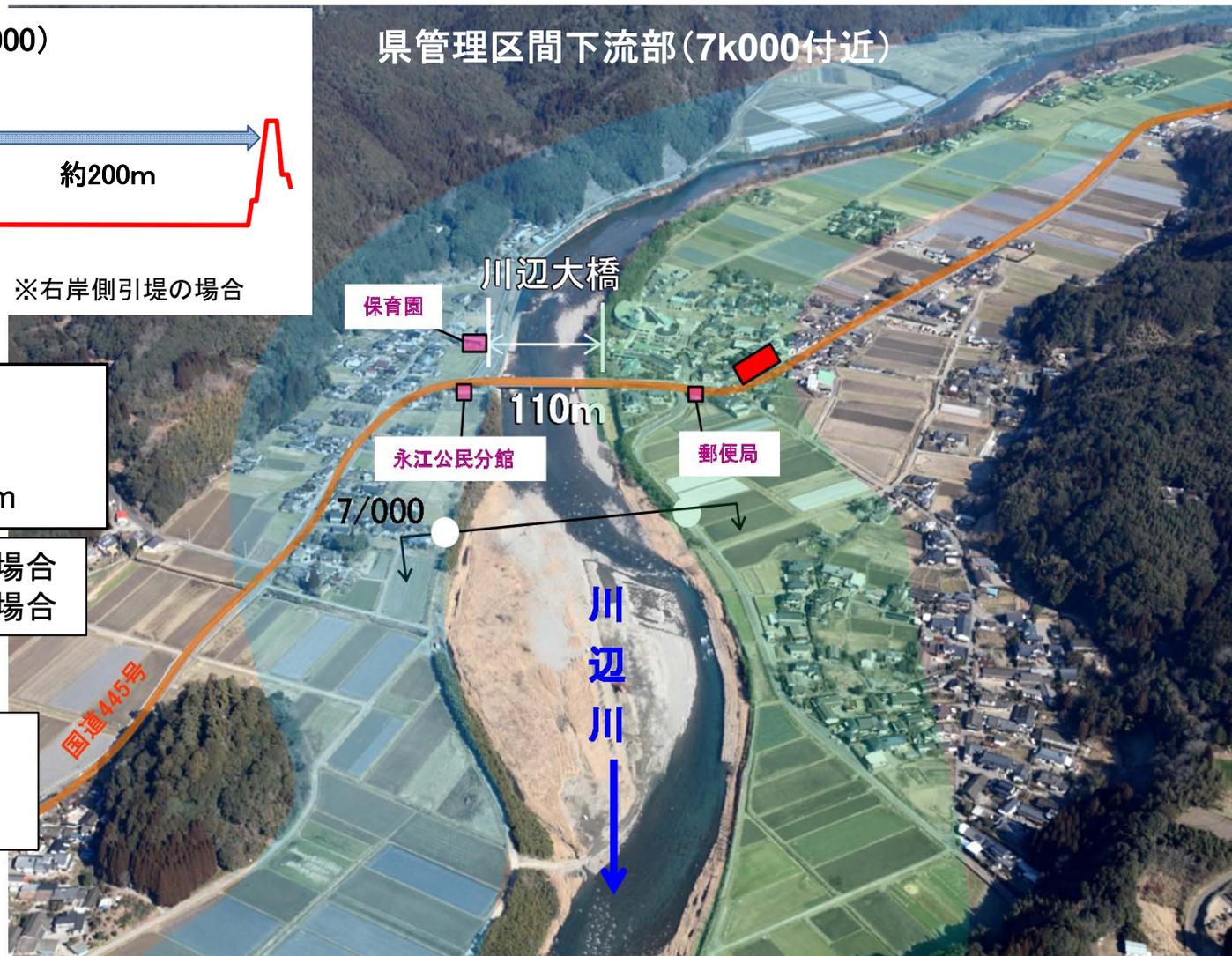
- 県管理区間下流部では、現況の川幅80m～200mを230m～350mまで拡げる。
- 右岸側引堤の場合：家屋等約300戸の移転、用地買収約145ha
- 左岸側引堤の場合：家屋等約400戸の移転、用地買収約148ha

横断図(7k000)



※右岸側引堤の場合

県管理区間下流部(7k000付近)



現在の川幅に対し、
必要な引堤幅

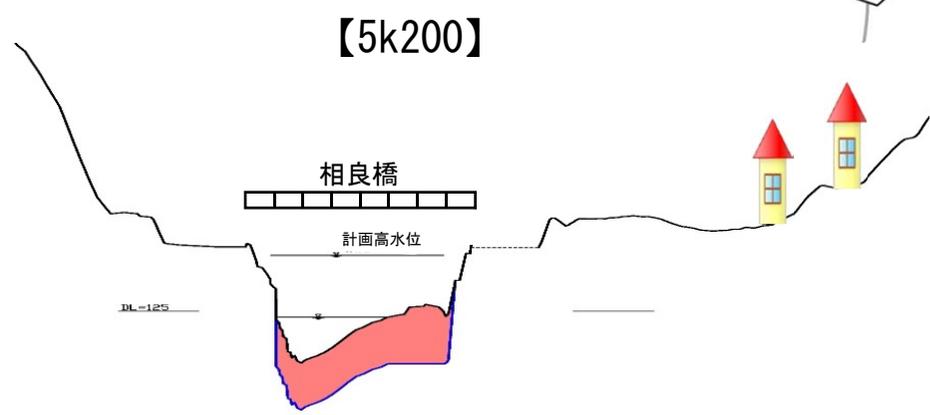
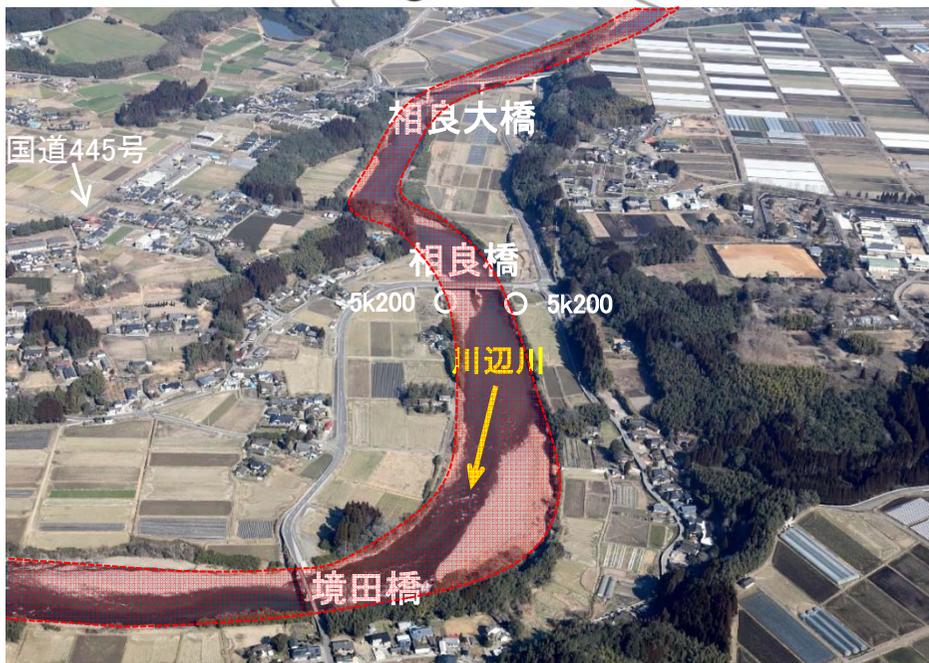
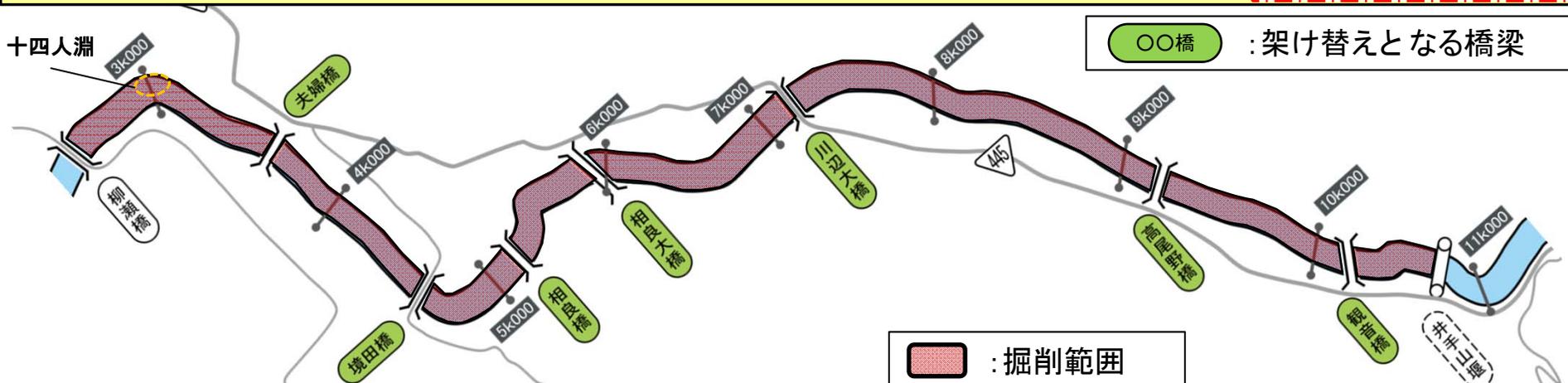
・川辺大橋付近：約150m

- : 右岸側を引堤した場合
- : 左岸側を引堤した場合

- : 病院
- : 金融機関、公共施設、観光施設等

- 計画高水位を超過する区間を一連で掘削
- 河床掘削：約290万m³（延長：約8.4km、掘削高：最大約10m）
- 橋梁架け替え：7橋

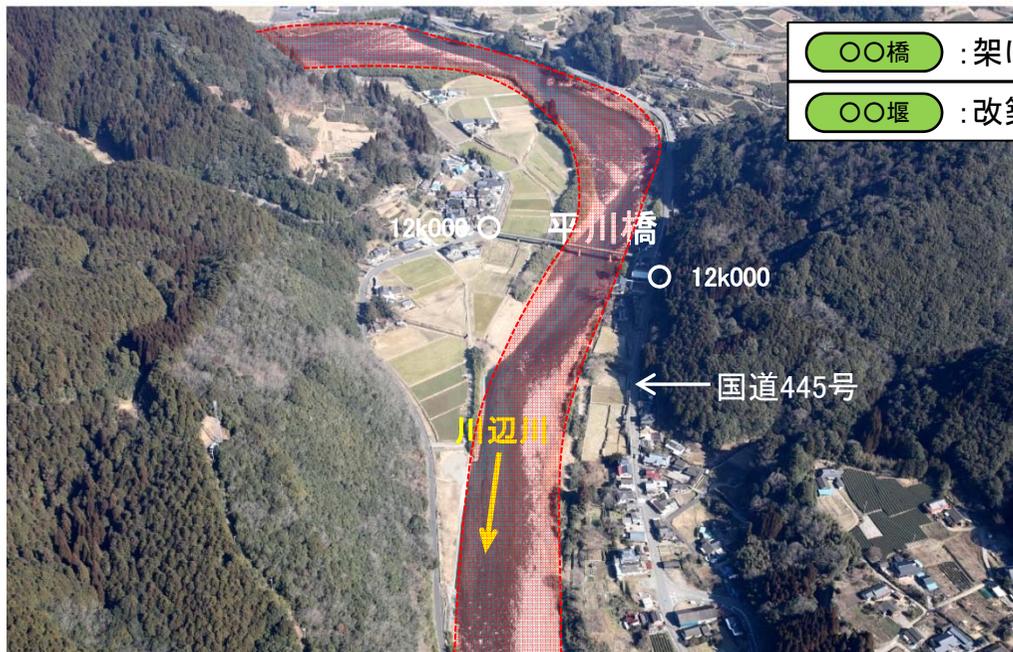
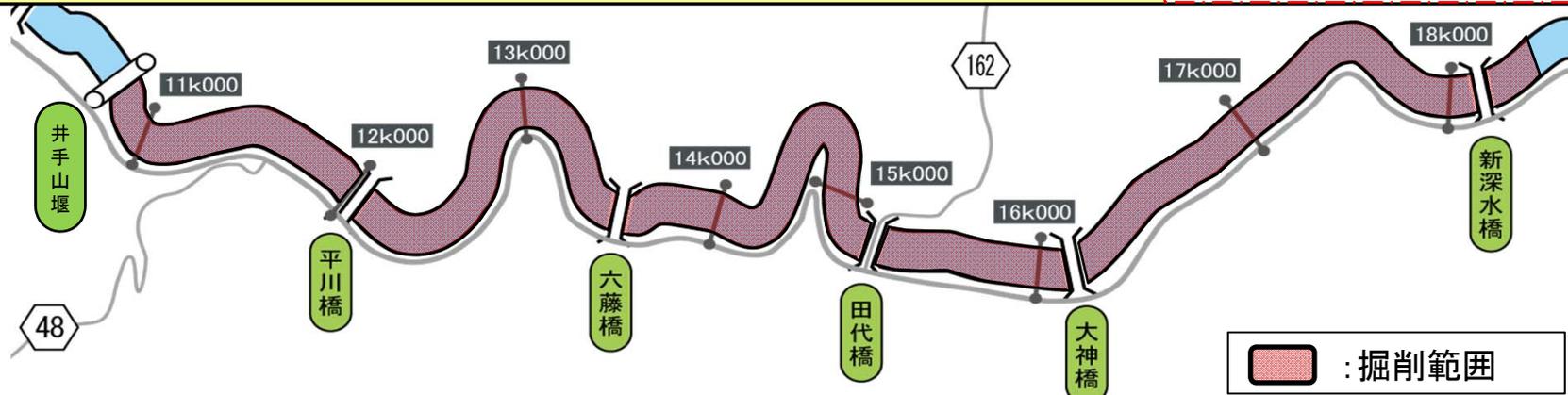
【掘削量】約290万m³
 ≡ダンプトラック(10t)で
 約58万台分



※直轄管理区間は掘削を実施しないため、直轄管理区間上流端付近の高さにあわせて掘削の縦断勾配をすりつける必要がある。

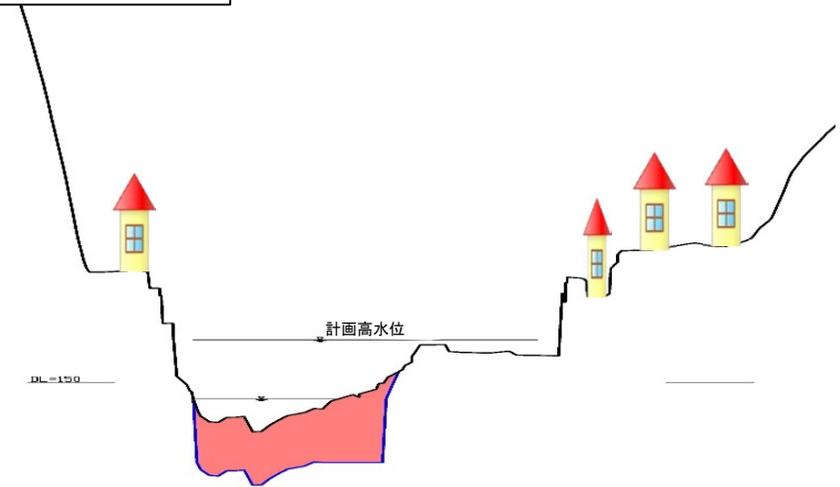
- 計画高水位を超過する区間を一連で掘削
- 河床掘削：約230万m³（延長：約7.7km、掘削高：最大約10m）
- 橋梁架け替え：5橋
- 堰の改築：1箇所

【掘削量】約230万m³
 ≒ダンプトラック(10t)で約46万台分



- ○ 橋 : 架け替えとなる橋梁
- ○ 堰 : 改築となる堰

【12k000】



○堤防の嵩上げは、堤防が高いほど、計画を上回る洪水が発生した場合には、より高い水位で越水することになり、一般的に浸水の広がりや深さが大きくなり、水害時のリスクが大きい。

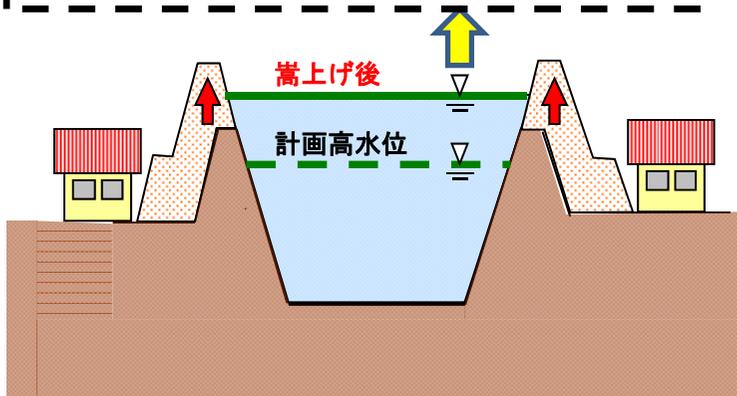
堤防を高くする



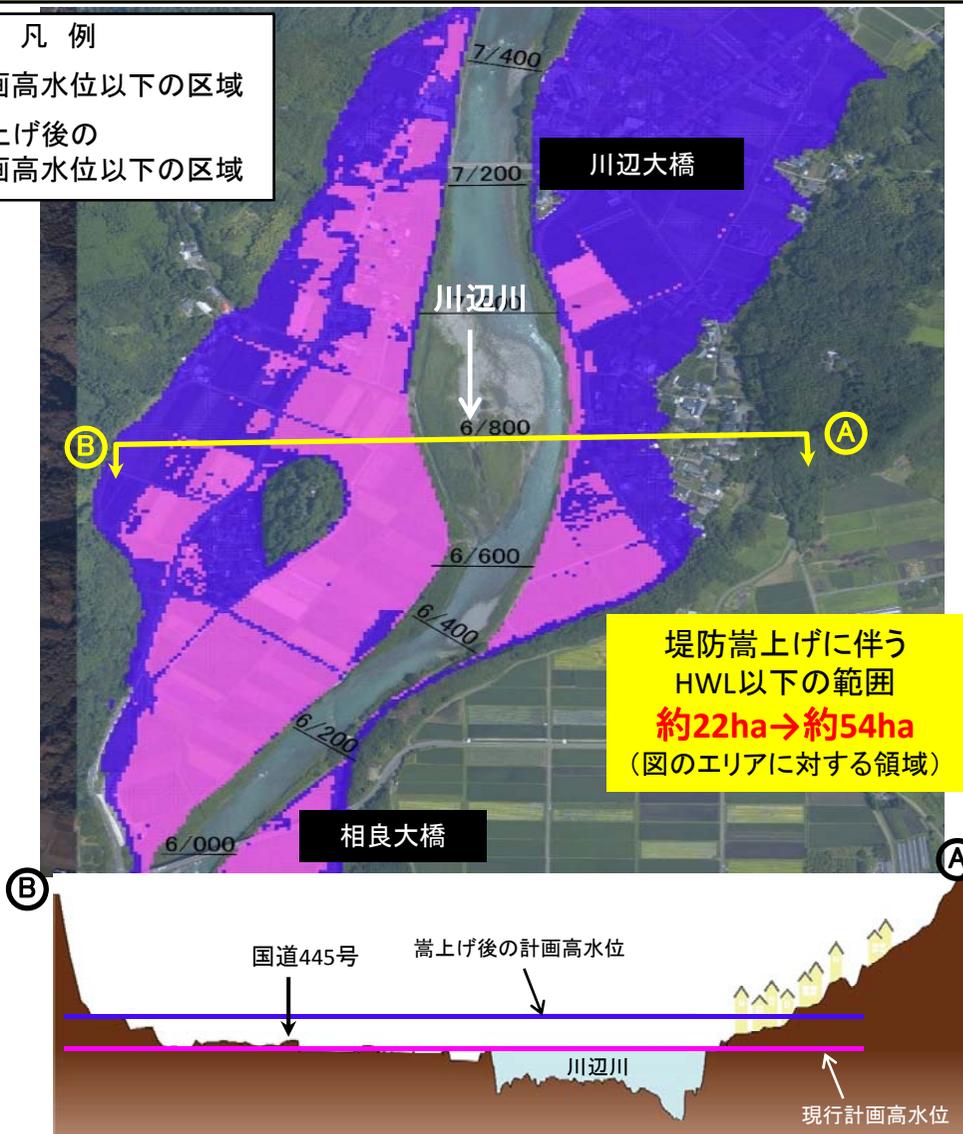
河川水位が高くなる



水害時のリスク大
 (水害時のリスクの増大を将来にわたり地域が抱え込むことになる)

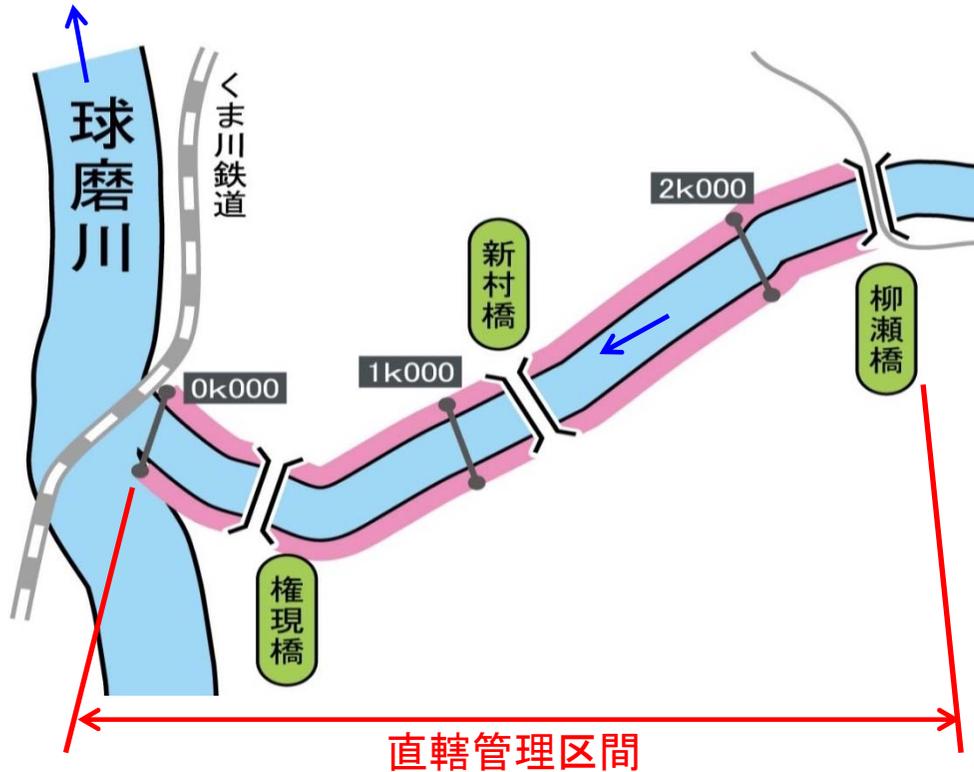


凡例
 ■ : 計画高水位以下の区域
 ■ : 嵩上げ後の計画高水位以下の区域

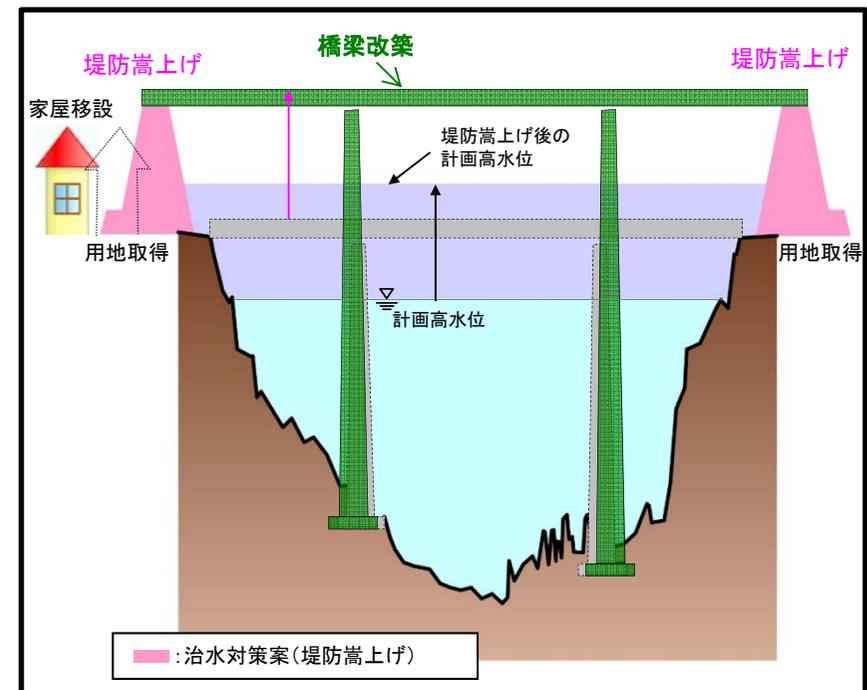


堤防嵩上げに伴う
 HWL以下の範囲
約22ha→約54ha
 (図のエリアに対する領域)

- 直轄管理区間では、計画高水位を超過する一連区間を対象として堤防嵩上げ
嵩上げ高：約1.3m～2.2m、嵩上げ延長：約5km(両岸)
- 橋梁架け替え：3橋
- 沿川の家屋約20戸の移転、用地買収約8ha



堤防嵩上げイメージ(直轄管理区間)



区間	堤防嵩上げ高	架け替えが必要な橋梁
直轄管理区間	最大約2.2m (箇所毎に設定)	3 橋

【凡 例】

- : 堤防嵩上げ区間
- : 橋梁の架け替え

○沿川の家屋約20戸の移転、用地買収約8ha。

右岸側の堤防嵩上げイメージ

【凡 例】

- : 現況堤防
- : 嵩上げ後の堤防

堤防嵩上げ
(約1.3m~2.2m)

川辺川

堤防嵩上げは、民家等の移転を伴う

▼ 嵩上げ後の計画高水位

▼ 計画高水位

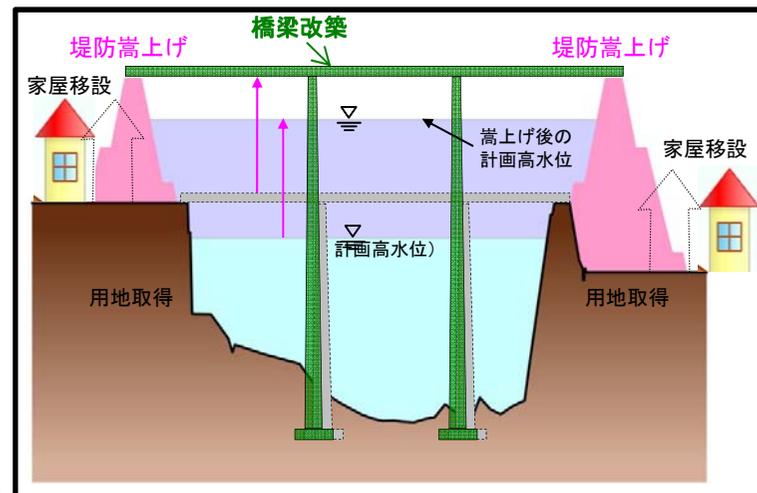
▽ 平水位

↑ 堤防の嵩上げ

- 県管理区間下流部では、計画高水位を超過する一連区間を対象として堤防嵩上げ
嵩上げ高 : 約3.4m、嵩上げ延長 : 約17km(両岸)
- 橋梁架け替え : 5橋
- 沿川の家屋約40戸の移転、用地買収約37ha



堤防嵩上げイメージ(県管理区間下流部)



【凡例】

- : 堤防嵩上げ区間
- : 橋梁の架替え

区間	堤防嵩上げ高	架け替えが必要な橋梁
県管理区間下流部	約3.4m	5橋

○川辺川沿いの家屋約40戸の移転、用地買収約37ha。

右岸側の堤防嵩上げイメージ

【凡例】

- : 現況堤防
- : 嵩上げ後の堤防



堤防嵩上げ
(約3.4m)

堤防嵩上げは、民家等の移転を伴う

